

平成 27 年度第 3 回 IR 実務担当者連絡会アンケート結果

アンケートは、参加者 41 名のうち、スタッフ 10 名を除いた 31 人中 29 人から回答があった。連絡会の満足度は図 1 に示す通り、半数弱が「満足」と回答した。選択した理由では、「満足」と「概ね満足」の間に特別の違いがあるようには見受けられなかった。

今後取り扱ってほしいテーマ・内容には、改善や大学改革につなげた IR の成功事例を希望する意見や、IR のスキルや IR に関わる教職員について知りたいという意見が複数あった。より具体的なテーマとして、教学関連では GPA や入試成績と学修行動調査の分析事例、検証可能な形でのポリシー設定について、研究関連では研究力、ビブリオメトリクスについて、大学評価に関連しては、中教審の施策、中期目標・計画での指標について、知りたいという意見がそれぞれあった。

なお今回は試みとして、質疑応答・総合討論の時間を、前回の倍となる 90 分確保した。参加者からの質問票は多くの枚数が出され、これらに対応するのに後半駆け足ぎみになるほどであった。しかしアンケートでは、会場からの意見をもっとききたかったという声もあり、質問票に回答したうえででの更なる意見交換ができると、より満足のいくものとなったかもしれない。

(藤井 [名古屋大])

H28 年 1 月 8 日開催

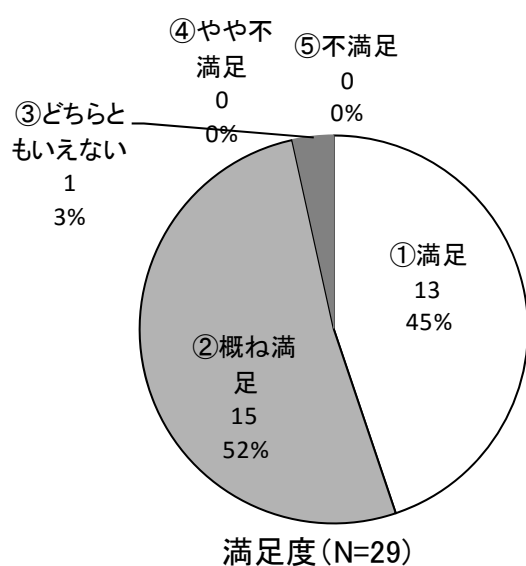


図 1 : 満足度

アンケート結果の詳細

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
1	国	いろいろな大学におけるIRの現状が分かった。	③どちらともいえない	・海外の大学の訪問調査は役に立たない。 ・参加者の生々しい声をもっと聞きたかった。	・IRの予算配分への活用 ・研究力のIR ・IRを現状分析からどうやって改善提案につなげるか	・懇親会を企画してほしい ・参加者一覧を配布してほしい
2	公	認証評価の業務も経験してしたが、部局内でのデータ蓄積・分析が人の入れ替わりで継続されていない状況にあるので、Factbookの取組みを参考にしていきたい	②概ね満足	認証評価などで人的リソース上活動が縮小してしまうので事例を参照にしながら活動を恒常化させていきたい	(企画・評価の話ですが)中教審等の施策対応	
3	私	特に何かというわけではありませんが、たくさんの情報が得られたと思っています	②概ね満足	1に記した通りです	IR担当の教員が、IRに費やす時間がどれほどのもので、それはどのように報われるのか?	
4	関係機関	・大学IRにおける分析目的の傾向 ・IRにおける上層部のビジョン明確化の重要性	②概ね満足	我々の機関は学生をほとんど抱えていないため、大学におけるIR需要を知ることができたことはプラスであった。		データ公開範囲でいうと、生データへのアクセス権限付与の他、データそのものを複数パターン作成しておくという方法もある。具体的に言うと生データのデータベースと匿名化したデータベースで作成し、匿名は広く公開する一方、傾向としてはおおよその部分のみしかわからないため、明確な結果がほしいければ生データに当たってみるようにする、など。
5	国	他大学、海外のIRやそれに関わるマネジメント等の話が聞けた。	②概ね満足	情報収集、また課題の共有ができたと思う。	IRが機能するためのガバナンスやマネジメント	
6	私	全国の大学の現状が推察できた。	②概ね満足	自学に参考になる話を聞くことが出来たから。	データの公開ポリシーの決め方	

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
7	私	途中参加でしたが、ファクトブックのお話が後半の質疑のお時間にお聞きできて良かったです。	②概ね満足		国立大学の第3期中期目標・計画上の指標の周辺(IR上の取り扱い等)	
8	私	初めて参加させていただきました。正直難しい研究的なお話が主流であつたら…と不安でした。しかしながら、本学が4月に教学IR室を設置するにあたり非常に参考になり、どこの大学も同じことを抱えていることが分かりました。	②概ね満足	Fact Book のつくり方 アセスメント実践支援のお話から三つのポリシーに関するお話	本学のような大規模私大のIRの状況をお聞かせ頂けると幸いです 事務職員として関われるIRとは? といったテーマも興味があります。	
9	私	IR 部署を立ち上げる際の課題解決についての議論(ex 仮名化・データの公開範囲など)はとても役に立ちました。(実際に直面している課題だったので)	②概ね満足	IR については初心者なので、とても勉強になりました。ありがとうございました。 色々な方の発表をお聞きでき良かったです。(時間が短かったのが残念でした)		
10	企業	清泉女子大学のお話こそが私大の多くが悩まれていることなのだと再認識した。	②概ね満足	私大の状況についても、より情報があるとよりよいと感じました。	改善につながっている具体例	
11	(未記入)	IR 組織立ち上げに関するヒントを得た。一方、IR 組織で扱う範囲、すなわちデータ収集・分析提供までとするかさらに改善まで作るか、その判断に迷うところである。 大学・各々の規模、組織の在りように影響されるにしても、改善まで行うとするととても重い役割を担うことになる。一方ルーティンの分析などもあるだろうし、IR を定着させ、教職員の意識を変えようとするならば、改善はそれぞれの担当部局に委ねるべきと思う。なお評価として外部に分析結果が出て	②概ね満足	他大学の取り組み、課題を垣間見ることができた。	<ul style="list-style-type: none"> IR で、取り扱ったデータカタログの事例 IR 成功事例 	

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
		いくことになる“お化粧”したデータとして出ていく、あるいは、都合の悪いデータは外に出さないようになり、本当の改善がないがしろになるのではと危惧する。				
12	私		②概ね満足		IRを大学改革に生かした事例について取り上げて頂きたいと思います。	
13	私	IR オフィスを立ち上げる際の促進要因と阻害要因が参考になった。	②概ね満足	所属大学はIR室が立ち上がったばかりである。今後どのように機能させるかが課題であるが、本日の会で、参考となったから。	IR業務で実績がある大学の事例紹介	もう少し発表の時間があるとよいと思います
14	私	IR やファクトブックに関する理解が深まった。山形大や茨城大の事例・経験は大変参考になった。	②概ね満足	1の通り		寫田先生の「使えるIR組織を作るには」の説明を聞いてみたかった
15	私	各大学というか各担当者のご苦勞、お取り組みを拝聴できたこと。具体的には、山形大学と茨城大学における実践事例に興味関心をもった。	②概ね満足	個人的にはもっと狭い分野の話を聞きたくて参加しましたが、話を聞いているうちに幅の広さが楽しくなってきました。		5年前の担当者集会で九州大学さんの事例をお聞きした記憶がありますが、(本学もちろんそうですが)進んでいるようで進まないという印象をもちました。
16	私	学内で悩んでいる点まで多く、様々なヒントを得ることが出来ました。	②概ね満足	基本的には、内容には満足しております。もう少し、会場から話を頂けると良かった様に思います。		

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
17	私	本学ではこれから IR 部局を立ち上げるために準備しているところです。今回、既に IR に取り組んでおられる教職員の実践に基づくお話が聞けたのは貴重な機会でした。	①満足	1 に同じです。たいへん参考になりました		今回の研究会では、IR はトップの目的意識が重要とのことでしたが、ボトムアップ的な IR というのはそもそも難しいのでしょうかね……。
18	関係機関	<ul style="list-style-type: none"> ・US の IR 業務の実態について ・学生がいる大学と研究者が主体の研究の問題意識の違い ・学内システムとしてデータベース構築の困難さ 	①満足	まさに自組織が IR オフィスを立ち上げていく中で事例の分析など大変参考になった。	大学共同利用機関との関係、評価指標について DB、ビブリオメトリクス	
19	国	改めてトップのビジョンの必要性を感じました。インフォーマルで色々情報収集するのも大切であると感じました。	①満足	本学でもやれそうなどころから、やっというヒントを得られたので。		また参加したいです。ありがとうございました。
20	国	ファクトブックを作成する事で、逆にリクエストが増えたという事例は大変興味深かった。また各大学での分析用データの取り扱いを知る事ができ、参考になった。	①満足	本学に於いてもファクトブックの作成を検討したいと感じたため、そのためには、どこにどのようなデータがあるかをしっかり把握する必要があることを再認識しました。そして様々な部署と共有する事も。		
21	(未記入)	本学ではこれから IR 室を立ちあげることになるため、様々な視点から課題を含めてお話をお伺いできて本当に参考になりました。特に畠田さんのお話は大変参考になりました。まずは大学で何のためにどの部署がどの範囲で IR 業務をやっていくかきちんと整理して進めることが重要だということがよくわかりました。	①満足	いつもメールリストで頂いている情報に加えて、現在大学の IR 業務に関して、日本の第一線で活躍されている先生方の生のお話をたくさん聞くことができ本当に大満足です。ありがとうございました。		今後いろいろな情報や知見を頂きながら、本学の参考にさせて頂きたいと思えます。ありがとうございました。
22	国	<ul style="list-style-type: none"> ・IR に課題改善機能まで持たせた IE という考え方があること ・IR オフィスについて、 	①満足	・本学の IR の課題について解決の糸口を得ることが出来たため	・IR の人材育成について	本日はありがとうございました。

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
		設置前に学内での議論が有効であること				
23	私	IR 室等をもし本学で設ける場合の参考になりました	①満足	最後の質疑応答で、ものすごく勉強になりました	IRを担当する人に最低限必要なスキルを具体的にしてほしい もしくは、IR 担当者が一番使う分析方法とか...	
24	公	本学の IR への取り組みについて今後どのように進めていくのかについて方向性をイメージすることができました。他大学の事例を交えて教えていただいたのでとても参考になりました。	①満足	IR 担当の副学長を導入し、今後 IR の取り組みを積極的に行う予定です。そのような状況下で学内での IR の進め方についてより具体的に知ることができました。また、どのようなデータを集めるべきかということについてイメージすることができました。		
25	私	IR の実践が多様であることを改めて認識しました。併せて IR 担当者の方々も極めて多様なのだと強く感じたところです。	①満足			本日はありがとうございました
26	私	中枢の文献資料、ファクトブック、アセスメントプラン等、IR に関する多くの知見を得られました。質問票により具体的に聞きたいことを取り上げて戴いた。	①満足	IR に関しての多様な問題、課題について、知見を得られ、今後の業務の参考になることが多かった	GPA や入試成績と学修行動調査の分析事例	
27	私	IR オフィスの立ち上げは、私立大学の場合、私学助成(補助金)対象とされており、内実問わずに IR 室が乱立していると思っています。本日のお話で、IR の目的、IR の活用法(誰が、何のために)が主体で	①満足	上記 1 に同じ	国、公、私立大学の事例は引き続きテーマに入れて欲しい	

ID	属性	得たこと	満足度	理由	今後取り扱ってほしいテーマ・内容	意見・感想
		あるべき。IRシステムDBの構築についても、必要なデータを部署をどのようにWinWinな関係で収集コミュニケーション、改善できるのか考えるよい情報を得ました。ありがとうございました。				
28	私	国内外の大学の取組みについてたいへん参考になりました。	①満足	浅野先生から声をかけて下さいました。今後の改善につながる内容がたくさんありました。	(経営)からの教学マネジメント、組織体制など(トップマネジメント)	
29	私	・複数学部で同じ学位を出している場合のポリシー設定の工夫・苦勞 ・可視化を進めていくためにはDBに入れるデータの意味・実態・使い道をしっかり整理しないといけないということ ・「定番化してきた情報」、「役立つとわかってきた情報」という視点	①満足	上記のこと得られたため	検証可能な形でのポリシー設定(ちょうど学内で進めているので関心があります)	

以上